
嫌性からの好言

ボク性天使～

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

嫌性からの好言

【Nコード】

N3098K

【作者名】

ボク性天使

【あらすじ】

ラブスト

リーッツ！

嫌好（前書き）

処女作

嫌好

それは私が公園で眠っていた時だった。なぜ眠っていたかという
返答に困っちゃうけど疲れていたんだと思う、うん。

「おーい……。あのー……。大丈夫すかー……」

脆い意識の中、そんな声が聞こえた。ふっと目を開けて頭を上
に持って行く。あー……。私寝てちゃったんだあ……。って。

「う……。ん？」

「あ、よかった……。普通に寝てただけか……」

まだ意識が少し朦朧としてたけどすぐに正常のモノとする。

少し目を擦り目の前に居た人を確認した。

第一表現は、かっこよかった……。が、あってる？ そう、思わせる
ような男の子……。だった。

睡眠時から起きてすぐに脳裏にビビってきた。電波が走ったような
感じ？分かるかな？この気持ち。

「あ、あんま無防備で寝んなよ？ 最近変質者多いしさ……」

彼は、あくまで心配（？）そうにそう言って困った感じに苦笑いする。見た感じは……、同い年かな？
かっこいいなあ、同じ学校の人かな？

そんな感じのことを思っていました。

「あ、ありがとう。最近疲れてたから気付いたら寝てたんだと思う……」

「そ、そっか」

そう言ってなにやら落ち着かない様子の少年。なんかさっきから困ったように動いてる、変質者？

「」「」

そこから嵐の前の静けさ、のような沈黙が流れた。私としては、苦でもなかったけど目の前の少年は、やっぱりどこか落ち着かない様子で……

「な、名前教えて？」

「あ、相沢。相沢あいざわ 耕太こうただよ」

「わ、私は、好葉。高橋たかはし 好葉このは」

どこか挙動不審の私と……相沢君。

何て言うか、さ。これが一目惚れってー言っの？

「あ、あの……」

「は、はい？」

「……………」

なに言おうか、迷って、考えて、もっと二人の時間がほしくなって、
どんな人が知りたくなって、

貪欲なのかなあ、私？

積もるとこ言いたいのほ

「す、好きですー!」

「はあ……。あ、いや……。うん?。はあ!？」

……。なにやってんの、私。

気付いたらその場から逃げました。

これが……。入学式前の……。二人の出会いでした。

嫌好（後書き）

ひーはー

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3098k/>

嫌性からの好言

2011年1月9日05時26分発行